

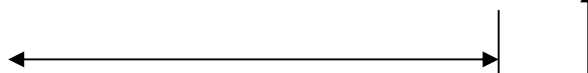
麻酔科疼痛治療科大学院コース

(1) コースの全体像

①専門医コース、②大学院コース、③標榜医取得コースの三つが選択できる。麻酔科は特殊標榜科目（基準を満たす者のみに標榜を許可）である。標榜医取得のためには、医師免許取得後、医療機関（麻酔部門の責任者として、十分な指導を行う医師が常時勤務、また麻酔科医が管理する麻酔症例が年間 200 症例以上等）で、指導医に 2 年以上麻酔の修練を受ける（手術における麻酔に関する業務に週 30 時間以上従事）、或いは 2 年以上麻酔業務に従事し、かつ気管挿管による全身麻酔を主な麻酔担当医として 300 症例以上実施した経験が必要になる。また、麻酔科専門医の取得のためには、標榜医が麻酔科認定医の申請（書類審査）を行った後、2 年以上麻酔科関連業務に専従し、申請（臨床実績・学会出席・学会発表・論文業績等）の上に、筆記・口頭・実技試験に合格する必要がある。なお、初期臨床研修時に麻酔科選択した場合標榜医の取得必要期間に加算される。

初期臨床研修

1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	7 年	8 年
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----



この間、岐阜大学及び関連施設で 麻酔科疼痛治療科専門医試験
5 年間研修

(2) コースの概要

コース名：岐阜大学医学部附属病院麻酔科疼痛治療科専門医コース						
大 学 病 院・ 医 療 機 関 名	診 療 科 名	専 門 分 野 名	指 導 者 数	目 的	養 成（受 入） 人 数	期 間
岐阜大学 医学部附 属病院	麻酔科 疼痛治 療科	麻酔・疼痛 制御学	13 人	麻酔科専門 医資格取得	10 名	卒後 7 年目 に専門医 認定試験 予定
				受入人数	10 名	

コース名：岐阜大学医学部附属病院麻酔科疼痛治療科大学院コース						
大学病院・医療機関名	診療科名	専門分野名	指導者数	目的	養成（受入）人数	期間
岐阜大学医学部附属病院	麻酔科疼痛治療科	麻酔・疼痛制御学	13人	麻酔科専門医資格取得	10名	卒後8年で学位取得（卒後7年目に専門医認定試験予定）
				受入人数	10名	

コース名：岐阜大学医学部附属病院麻酔科疼痛治療科標榜医コース						
大学病院・医療機関名	診療科名	専門分野名	指導者数	目的	養成（受入）人数	期間
岐阜大学医学部附属病院	麻酔科疼痛治療科	麻酔・疼痛制御学	13人	麻酔科標榜医資格取得	10名	卒後4年目に標榜医取得予定
				受入人数	10名	

（3）コースの実績

専門医取得コースを今までに8人が選択している。標榜医取得コース・大学院コースを最初から選択したものはいないが、途中からのコース変更も適宜認めることにしている。大学を含めて指導医のいる麻酔科認定病院（学会指定：岐阜県総合医療センター、岐阜市民病院、松波総合病院、中濃厚生病院、大雄会病院、中部労災病院、名城病院）で臨床麻酔・疼痛治療（ペインクリニック・緩和医療）・集中治療（重症患者管理）の内容をそれぞれの病院に即した形で研修を行っている。

(4) コースの指導状況

各コース指導の体制は整っている。指導医のもと臨床・研究指導（臨床研究・動物実験等）を行っている。麻酔科指導医の常勤する関連病院での研修も認めており、病院間連絡を密にして協力して研修指導体制を構築し、「周術期管理、救急・集中医療、ペインクリニック、緩和医療、総合診療などを主たる活動領域とし、医学・医療全般に深く関わり、医療と学術を担う能力の修得と向上をはかる。」という理念に基づき指導を行っている。

(5) 専門医の取得等

学会名	日本麻酔科学会
資格名	麻酔専門医
資格要件	5年間の麻酔修練と麻酔科学に関する研究
学会の連携等の概要	
当麻酔科は日本麻酔科学会の専門医が13名おり、専門医認定施設として指定されている	